

不妊症について

妊娠を希望し一定期間（1年）過ぎても妊娠しない場合「不妊症」といいます。女性側に原因がある場合もあります。男性側に原因がある場合もあります。また原因がなくてもなかなか妊娠できないこともあります。女性の場合子宮の病気が影響することもあります。子宮内膜症のある方の30%が妊娠しにくいとも言われています。また子宮筋腫が大きくなると子宮の変形や卵管の圧迫により不妊の原因になることもあります。原因を調べる検査を夫婦で行い、原因が分かれば様々な治療を始めることができます。

不妊治療には一般不妊治療といわれるものと高度生殖医療と言われるものがあります。一般不妊治療にはタイミング治療や人工授精などが含まれます。高度生殖医療は体外受精（たいがいじゅせい）や顕微授精（けんびじゅせい）などが知られています。現在これらの不妊治療は、公費の助成を受けることができます。また、妊娠しない原因があるかを調べる検査に対しても助成が受けられます。年齢が進むことで妊娠しにくくなることがわかっています。不妊症や不育症の心配のある方、検査、治療を希望する方はこのような助成制度を利用することができます。ただし、検査、治療には時間や日数がかかることがあります。治療を始めてもすぐ妊娠できるとは限りません。なるべく早めに始めることをおすすめします。

助成については決められた期間や年齢、回数、金額の上限などがありますので県や市に確認をお願いします。